

日本精神保健看護学会員の皆様

精神保健看護の実践の質向上に関する取り組みとニーズ、課題の実態調査  
ご協力をお願い

この度、日本精神保健看護学会実践の質向上委員会では、精神保健看護領域で日々、当事者や周囲の皆様のためにご尽力されている会員の皆様の看護実践のさらなる質向上に必要な研修を検討する目的で、調査を行うことになりました。下記の説明文書をお読みいただき、ご賛同いただける方は、是非とも調査へのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査に参加されなくても不利益を受けることは一切ございません。もし、ご不明なことがありましたら、些細なことでも遠慮なく、下記の連絡先にお尋ねください。

## I. 本調査の目的

本研究では、日本精神保健看護学会実践の質向上委員会による中堅以上の看護師への教育研修の企画・実施に資する、精神保健看護に従事する中堅以上の看護師の実践の質向上に関する取り組みとニーズ、課題を明らかにすることを目的とします。

## II. 調査方法

### 1. 対象者

下記①～④の選定基準を全て満たす方を対象とします。

- ① 日本精神保健看護学会会員
- ② 病院、クリニック、訪問看護ステーション、障害福祉サービス事業所、企業等に勤務する看護師
- ③ 常勤・非常勤を問わず、現在、直接当事者のケアに従事する看護師
- ④ 精神科の臨床経験が3年以上の看護師

下記の方は除外します。

- ① 日本精神保健看護学会非会員
- ② 現在、直接当事者のケアに従事していない看護師

### 2. 調査内容

本調査では、精神保健看護の実践の質を「精神的健康について援助を必要とする人々はもとより精神的健康の維持、向上をめざす全ての人に対して、リカバリー志向を備え、対象者および家族との協同、多職種との連携をしながら、理論、エビデンスにもとづいた専門知識、専門的技術を活用して倫理的で効果的な看護を継続的に行い、精神保健医療福祉の発展に貢献できる程度／力」と定義しました。また実践の質に影響する要素を、①「リカバリー志向」、②「対象者との協同」、③「関連職種との調整・連携」、④「倫理的視点をもった対象者との関わり」、⑤「専門知識を活用した対象者の理解」、⑥「専門的技術を活用した看護実践」、⑦「自己洞察・自己活用」と設定し、それらに関する質問項目を設けました。

### 3. 本調査においてご協力をお願いしたいこと

1) 2. を含む、実践の質向上のための取り組み等に関してお尋ねする、Google フォームによる質問紙調査への回答

Google フォームの URL から回答、送信をしてください。

<Google フォーム URL> <https://forms.gle/5AkDtLv7t4rqLp4A7>

2) 追加で、詳細をお尋ねするためのインタビュー調査へのご協力

- 追加のインタビュー調査にご協力頂ける方は、フォームの最後にご連絡先のご記入をお願い致します。
- インタビュー調査は個人またはグループで30分～1時間程度を予定しています。
- 後日、日程調整のためのご連絡をいたします。

### 4. 調査スケジュール

2022年11月18日 Google フォーム回答締切

2022年12月初旬 インタビュー協力者との日程調整、インタビュー調査開始

2022年12月下旬 調査終了予定

## 5. 倫理的配慮

この調査を行うにあたり、下記についてお約束いたします。

本調査は、日本精神保健看護学会と国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認（22-Im-025）を得た上で実施します。また、研究計画を遵守して実施します。

### ①調査協力の任意性

- 調査への協力は自由意思であり、断っても不利益を被ることは一切ありません。
- Google フォームへの回答、送信をもって調査参加に同意したものといたします。
- 無記名の場合（追加インタビューに参加しない場合）Google フォーム送信後の同意撤回は困難ですのでご了承ください。

### ②調査におけるご負担

- 回答には 20 分程度のお時間を要します。
- 日常のご自身の看護実践を振り返る機会となるため、回答の際に精神的苦痛を感じたり、答えたくない質問があった場合は、回答を中断したり、回答をスキップしても構いません。
- フォームの回答、送信の際のデータ通信にかかる料金は自己負担となります。

### ③個人情報の保護

- プライバシーの保護には十分配慮いたします。
- 全てのデータファイルは、ID とパスワードが必要であるオンラインストレージ（Google ドライブ）で管理します。廃棄する際にはバックアップがない状態まで完全に消去します。

## 6. 研究の資金源等

本研究の資金源は、一般社団法人日本精神保健看護学会です。

本研究について、利益相反はありません。

追加インタビュー調査にご協力頂く方にも下記をお約束いたします。なお、開始前に改めて趣旨を説明し同意書に署名をいただきます。

- インタビューは Zoom で行い、研究者側はプライバシーが保たれた静かな場所で実施します。
- インタビューに同意した場合でも、データ収集中の参加の中断は可能です。同意後の辞退の場合、それまでに収集したデータは速やかに破棄いたします。
- Zoom でのインタビューの際に使用するカメラ、マイク、およびデータ通信にかかる料金は自己負担となります。
- グループインタビューについては、開始の際に、個人のプライバシーはお互い守ること、グループインタビュー外の場でインタビューで語られた内容を口外しないこと、SNS 等への書きこみをしないことを再度説明し、安心して参加できる場であることを保証いたします。

※本調査について、利益相反はありません。

本調査についてご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

所属	日本精神保健看護学会実践の質向上委員会委員	根本 友見
連絡先 住所	国際医療福祉大学 成田看護学部看護学科	
電話	千葉県成田市公津の杜 4-3	
E-mail	0476-20-7781	
	tnemoto@iuhw.ac.jp	

調査責任者	日本精神保健看護学会実践の質向上委員会委員長	岡田 佳詠
所属	国際医療福祉大学 成田看護学部看護学科	
連絡先 Email	yoshiok@iuhw.ac.jp	

調査担当者 実践の質向上委員会

根本友見（国際医療福祉大学）、菊池美智子（もりやま総合心療病院）、森内加奈恵（千葉大学医学部付属病院）、則包和也（香川大学）、北野進（松沢病院）、中野眞樹子（笑む笑む訪問看護ステーション）、岡田佳詠（国際医療福祉大学）